

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 2 年度病虫害発生予察注意報第 2 号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第 2 号を発表したので送付します。

7 月 2 半旬調査の結果、トビイロウンカの発生密度、発生ほ場率共に過去 10 年で最も高く、今後の気象条件次第では多発が予想されます。

本年は、6 月上旬から 7 月上旬にかけて断続的な飛来が確認されており、今後も梅雨明けまで飛来が続く恐れがあります。ほ場での発生状況を早急に確認し、適期防除の徹底について指導願います。

注意報第 2 号

- 1 対象作物：水稻
- 2 病虫害名：トビイロウンカ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発 生 量：平年・前年より多

5 注意報の根拠

(1) 飛来状況

予察灯とネットトラップ(表 1) 及び、JPP-NET(日本植物防疫協会運営)の「ウンカ飛来予測シミュレーションモデル」情報に基づくほ場調査より、現時点での推定飛来日を 6 月 11 日、26 日、7 月 8 日とした(図 1)。

月	6 月											7 月											8 月																			
日	11		15			20			25		30				5			10		15		20			25		31			5			10		15		20			25		31

6月11日
飛来

飛来成虫	卵	第 1 世代幼虫	成虫	卵	第 2 世代幼虫	成虫	卵	第 3 世代幼虫
------	---	----------	----	---	----------	----	---	----------

6月26日
飛来

飛来成虫	卵	第 1 世代幼虫	成虫	卵	第 2 世代幼虫	成虫	卵
------	---	----------	----	---	----------	----	---

7月8日
主飛来

飛来成虫	卵	第 1 世代幼虫	成虫	卵	第 2 世代幼虫
------	---	----------	----	---	----------

(注) (1) 発育零点 12.0℃、発育上限温度 28.5℃、発育停止温度 33.0℃、有効積算温度(成虫期間 100.0℃・卵期間 109.4℃・幼虫期間 189.4℃)

(2) 気温はアメダス太宰府を使用(7 月 13 日まで実測値、以降は平年値)。

図 1 飛来に基づくトビイロウンカの発生予想パターン図(令和 2 年 7 月 14 日作成)

表1 ネットトラップ・予察灯におけるウンカ類の飛来状況（令和2年7月9日まで）

月日	セジロウンカ							トビイロウンカ							コブノメイガ						
	ネット	予察灯						ネット	予察灯						ネット	予察灯					
	筑紫野市	筑紫野市	糸島市	筑後市	行橋市	遠賀町	予察灯計	筑紫野市	筑紫野市	糸島市	筑後市	行橋市	遠賀町	予察灯計	筑紫野市	筑紫野市	糸島市	筑後市	行橋市	遠賀町	予察灯計
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6/11	0	0	4	0	0	31	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/12	0	0	26	0	2	28	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/14	0	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/15	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/16	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/18	0	0	38	0	0	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	0	0	16	0	0	4	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	2	0	0	26	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/21	0	0	0	3	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/22	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/23	0	0	4	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/25	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/26	0	0	1	0	0	15	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	1	2	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/28	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/29	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0
6/30	0	0	0	欠測	欠測	1	1	0	0	0	欠測	欠測	0	0	0	0	0	欠測	欠測	0	0
7/1	0	0	0	欠測	欠測	8	8	0	0	0	欠測	欠測	1	1	0	0	0	欠測	欠測	0	0
7/2	0	0	0	欠測	0	1	1	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0	0
7/3	0	0	2	欠測	0	5	7	0	0	0	欠測	0	2	2	0	0	0	欠測	0	0	0
7/4	0	0	0	欠測	4	5	9	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0	0
7/5	0	0	1	欠測	0	0	1	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0	0
7/6	0	1	1	1	欠測	1	4	0	0	0	0	欠測	0	0	0	0	0	0	欠測	0	0
7/7	0	0	9	0	欠測	3	12	0	0	7	0	欠測	1	8	0	0	0	0	欠測	0	0
7/8	0	2	17	77	欠測	19	115	0	1	3	17	欠測	3	24	0	0	0	0	欠測	0	0
7/9	0	0	2	0	欠測	0	2		0	1	0	欠測	0	1		0	0	0	欠測	0	0

（2）ほ場での発生状況：7月2半旬（7月2～10日）調査結果より

- ・県内43地点の定点ほ場における10株当たりの払い落とし成幼虫数は、平均2.2頭で平年（0.0頭）・前年（0.0頭）よりも多く、発生ほ場率は76.7%で平年（1.9%）の約40倍と過去10年で最も高かった（図2）。
- ・トビイロウンカの齢期構成では、長翅型成虫が中心であるものの、一部ほ場で若齢幼虫が確認されている。

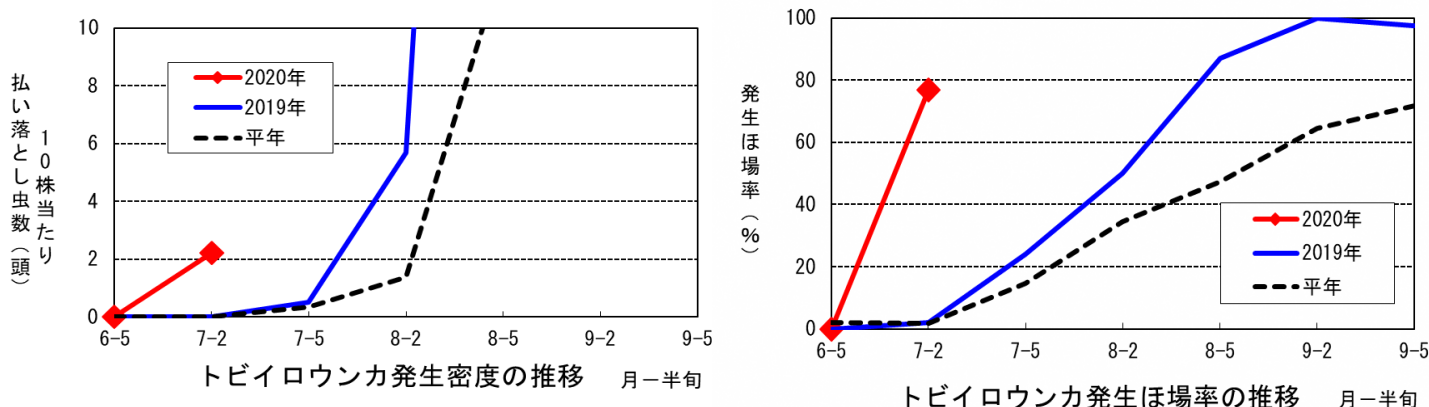


図2 トビイロウンカの発生密度と発生ほ場率の推移

(3) 今後の気象予報

福岡管区気象台が令和2年7月9日に発表した1か月予報では、やや多発生の条件となっている。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 本種の発生量は地域・ほ場・移植時期で大きな差があるため、ほ場をよく巡回し、要防除水準を超えたほ場では早急に防除を行う。特に、トビイロウンカに対する感受性が低下している箱施薬剤を使用したほ場では急激な発生量の増大が懸念されるため、防除適期の逸失に注意する。

＜要防除水準＞トビイロウンカ：幼虫の合計数

- ・飛来後第1世代： 20頭/100株（7月中～下旬頃）
- ・飛来後第2世代： 100頭/100株（8月中～下旬頃）

- (2) 防除適期は発生予想パターン図（図1）を参考にして、齢期構成の調査から最適防除時期を決定する。
- (3) 防除に当たっては薬剤が株元まで届くよう丁寧に散布し、散布後に防除効果を必ず確認する。
- (4) 農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された対象病虫害名・使用時期等を確認し、使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。

また、ミツバチ・魚介類等の周辺動植物及び環境に影響がないよう、飛散防止対策を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

- (5) 無人ヘリコプターによる防除を実施する場合は、気温が高くなる前の早朝に行う。

気温が高い時間帯に実施すると、薬剤の種類によってはイネの株元に到達する前に気化し、防除効果が著しく低下する場合がある。

- (6) 使用する農薬については「令和2年度普通作物病虫害・雑草防除の手引き（<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html>）」を参照する。
- (7) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページ（<http://www.jpnpn.ne.jp/fukuoka/>）を参照する。

